大分県私立高校の入試選抜方法

令和9年度の大分東明高と大分高の入試実施要領をもとに、私立高校の選抜方法を紹介します。私立高校の入試方法は「推薦入試」・「特別奨学生入試」・「一般入試」の3通りがあります。

■推薦入試選抜方法

各高校で決められたある一定の推薦基準を満たす人が、その学校のみ志願していることを前提とし、「合格後、必ず入学する」という意志を明確にしたうえで、出身中学校長の推薦を受けて受験する方法です。面接（個別もしくは集団）および科目試験の結果と、出身中学校から提出された書類等（調査書）を総合して選考されます。

■特別奨学生入試選抜方法

特別奨学生入試とは、「特別進学コース」を希望する生徒対象の選抜方法です。東明高校では一定の基準を満たした場合、特別奨学生として、S特待生は3年間で150万円の給付、A特待生は3年間で90万円の給付資格が与えられます。(※上記金額は、昨年度の実績となります。)

大分地区では、特別奨学生のレベルの有無にかかわらず、多くの生徒が1月中旬実施の特別奨学生テストを受験することが慣例的になっています。

■一般入試選抜方法

一般入試は、ほとんどの学校で学科試験の結果と、出身中学校から提出された書類等（調査書）を総合して選考されます。一般入試での調査書は学校間格差を考慮して、「参考程度」とするところがほとんどです。ただし、素行や出席日数については合否を決める重要なポイントになっているようです。出席日数については、長期的な欠席などが見られます。端的に言えば、私立高校の一般入試とは、学力テストで合格ラインを超える点を取らなければ合格できないということです。言いかえれば、入試の時に、問題が解けなければ合格できないのです。

令和8年度　大分地区私立高校入試結果（概要）

大分東明高校 （300点満点）						大分高校 （300点満点）					
	受験者数	平均点	合格点		合格者数		受験者数	平均点	合格点		合格者数
特別奨学生試験	2903名	131.5点	奨学生	207点	非公表	特別奨学生試験	674名	143.3点	特A	210点	162名
									特B	185点	
一般試験	2937名	174.1点	奨学生	245点	非公表	一般試験	683名	161.8点	特A	210点	207名
									特B	185点	
			特進	184点	非公表				特進	185点	186名

＝私立高校の一般入試の問題と合格点＝

私立高校は、各学校が独自の判定基準を持っているので、出題傾向も当然学校によって大きく差があります。大分地区の場合、中学校教科書レベルの基本問題が多く出題されますが、1科目につき小問で数題は、教科書レベルを越えた内容が出題されます。したがってそれなりの対策が必要となってきます。

合格点は学校によって異なりますが、特進コースでは総合点の約60%が合格ラインのようです。特別奨学生のテストに関しては、慣例的に多くの生徒が受験していますが、一般試験と比較して問題の内容が難しく(平均得点率45%程度)、また合格者数も非常に少ないため難易度の高い受験となっています。